社会福祉法人
恩賜財団 済生会滋賀県病院
SAISEIKAI SHIGA HOSPITAL

地域の皆さんと病院を“つなぐ”広報誌

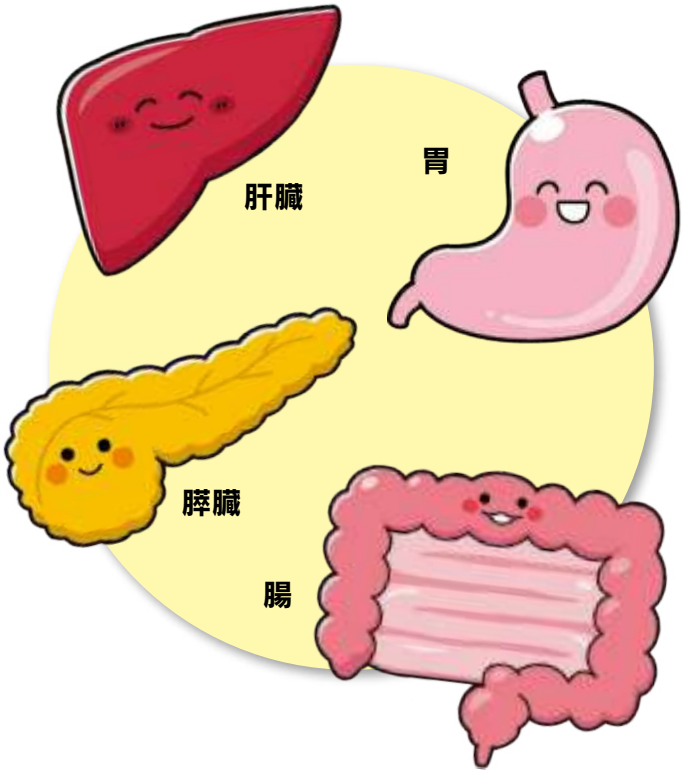
かけはし

222号
2024年4月
ご自由にお持ちください

特　集　　消化器がんの予防について
リハビリ通信　　災害リハビリテーションとは

作：南　久美子

消化器がんの予防について



1. がん予防の現状

がんを予防するには、禁煙、適度な飲酒、バランスのとれた食事、運動、適正な体重管理など、健康習慣の実践が重要です。さらにがんの早期発見・早期治療のためには、がん検診が推奨されます。わが国のがん検診は、市町村が実施する住民検診などの対策型と個人が任意に受ける検診や人間ドックなどの任意型に分けられ、対策型としては、胃・大腸・肺・子宮頸・乳がん検診の5つがあります。厚生労働省による「2022年の人口動態統計」の部位別がん死亡数では、男性は肺、大腸、胃、膵臓、肝臓、女性は大腸、肺、膵臓、乳、胃の順に多くなっていますが、胃、大腸、肺、子宮頸、乳の5つのがんは、科学的根拠に基づくがん検診が普及し、早期診断さらにはがん死亡率減少に寄与しています。

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

表1.部位別がん死亡数（2022年の人口動態統計より）

2. 消化器がんの予防について

胃がんは、ヘリコバクターピロリ菌の感染による萎縮性胃炎を背景に発生します。年代別ピロリ菌感染率は、衛生環境の改善に伴い減少傾向にあり、さらに除菌や内視鏡治療の普及も相まって、死亡数は減少傾向です。ただ、除菌により、すぐさま胃がん発生率がゼロになるわけではないので、除菌後も胃がん検診の継続は必要です。

大腸がんは腺腫からの発がんが大部分を占めるため、腺腫のうちに内視鏡下切除することが推奨されます。毎年、便潜血による大腸がん検診を受診し、腺腫切除歴のある方は、3年ごとの大腸ファイバー検査を受けましょう。

肝がんは、B型・C型肝炎ウイルスの関与が明らかとなり、それぞれ抗ウイルス薬による予防と、検診対象者の絞り込みがなされています。

図1.ピロリ菌除菌前後の胃粘膜の様子

3. 膵がんの予防について

一方、膵がんは部位別死亡数で男性4位、女性3位にもかかわらず、科学的根拠に基づくがん検診が確立されていません。さらに、膵がんにおいては、様々な原因の関与があり、検診対象者の囲い込みは困難な状況にあります。

膵がんの検査法として、血液検査（膵酵素や腫瘍マーカー）、腹部エコー、CT、MRI、超音波内視鏡（EUS）があげられます。血液検査は簡便ですが、進行して初めて異常値を示すことが多く、早期の診断には有用ではありません。また、膵がんの腫瘍マーカーとして知られているCA19-9については、日本人の約10%の人しか生まれつき産生することができず、進行した膵がんであっても、正常値のままということがあります。腹部エコーも簡便な検査ではありますが、消化管ガスや体格の影響に左右されることがあり、とくに尾部の観察が困難な場合があります。

CTは造影剤を使用して繰り返し撮影することで、その診断能力は上がりますが、被曝の問題が気になります。一方、EUSは内視鏡を使用して、消化管の中から超音波で膵臓を観察する検査法で、内視鏡を使うことの負担はありますが、MRIと同様、侵襲性の少ない検査法です。そこで、MRIとEUSを組み合わせた膵がん検診が注目されており、欧米では、家族性膵がん家系などの高リスク群で、その有用性が示されています。わが国では、国立がん研究センター中央病院が主導する臨床試験の登録が始まり、その結果が待たれます。

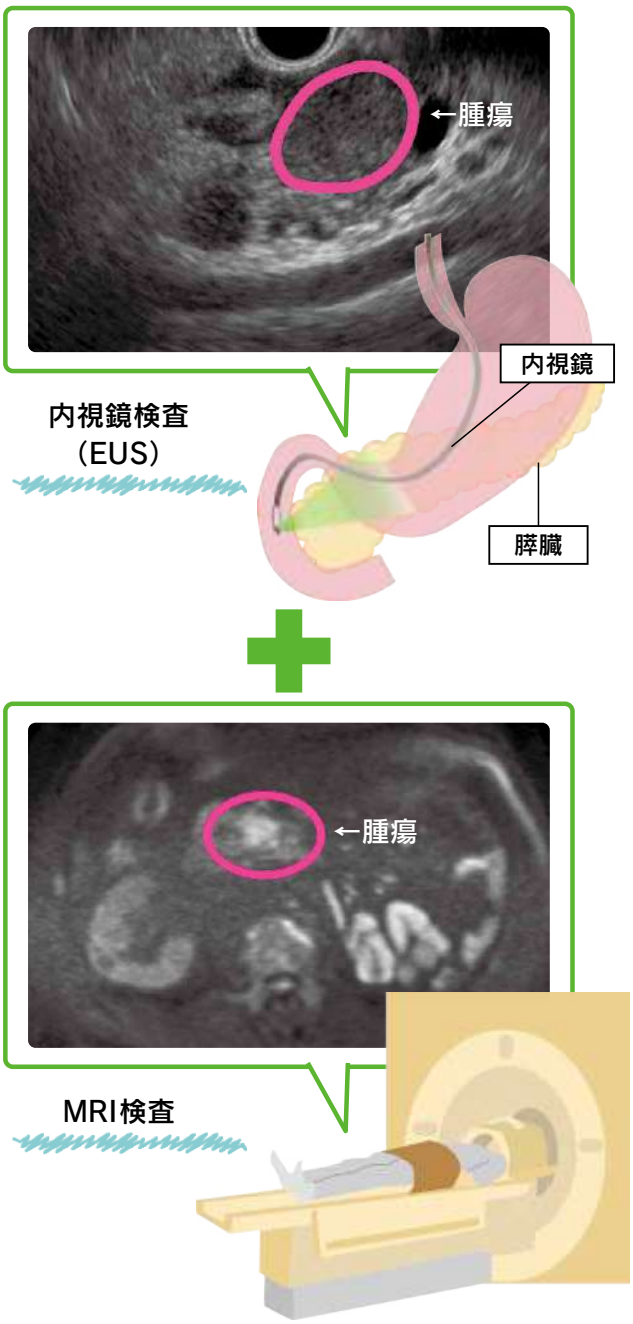


図2.EUSとMRIを組み合わせた膵がん検診

4. 患者さんへメッセージ

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月に季節性インフルエンザと同じ5類へ移行となりました。2020年1月に国内で初めて確認されてから約3年間、がん検診控えがありました。今後、進行がんで発見される方が増えるのではと懸念しています。

わが国のがん検診受診率は他の先進国と比べ低い傾向にあります。検査や治療のレベルが高い水準にある日本に暮らしている皆さんが、その恩恵を受けるには、早期発見・早期治療しかありません。進行したがんのほとんどは、残念ながら現在の医療では完治に至らないからです。皆さんの健康はご自身で守りましょう。是非、地域のがん検診を受けてください。

副院長　保田　宏明

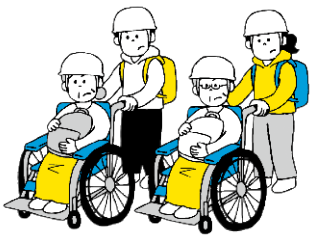
【専門分野】
消化器がん（膵がん・食道がん・胃がん・大腸がん）、膵疾患、神経内分泌腫瘍、超音波内視鏡検査および関連手技

リハビリ通信

災害リハビリテーションとは

リハビリテーション技術科　理学療法士　植田　征太

はじめに



令和6年1月1日16時10分に石川県能登半島で震度7の地震がありました。その影響により2月に入っても2万3000人が避難所や親戚の家、車中泊を続けられています。そこで今回は災害時に活躍する災害リハビリテーションについてご紹介いたします。

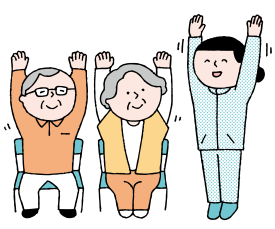
災害リハビリテーション

災害リハビリテーションは、生活不活発および災害関連死を防ぐために、リハビリテーション医療・医学の視点から関連専門職が組織的に支援を展開し、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建・復興を目指す活動です。そのために、安全でより快適な環境を整えていきます。

具体的には、避難所などの慣れない環境で安全に動ける様に動作指導、必要な福祉用具の検討などを行います。自宅で杖や装具を使って歩いていた人がそれらを無くしてしまったら、その人に合った長さの杖、装具を準備します。そこにいる人達が定期的に運動できるような仕組み作りもお手伝いします。食べ物についても、自宅で刻みやとろみのついた介護食を食べていた人には食事の準備、食べ方のアドバイスも行います。自助具の工夫も行い、コミュニケーションの取り方もアドバイスします。

【災害のフェーズに合わせたリハビリテーション支援】

応急修復期 ---> 復旧期 ---> 復興期

リハビリテーショントリアージ	生活不活発病予防	健康支援
• 避難所の住環境評価と整備 • 動きやすい居住環境のアドバイスや応急的環境整備 • 避難所支援物資の適切な選定と設置	• 避難所や施設での リハビリテーション支援活動 	• 地域に根付いたリハビリテーションへの移行支援

人工膝関節全置換術用手術支援ロボット導入！

高齢化社会に伴い、「変形性膝関節症」の患者さんは増加の一途をたどっており、自覚症状のある患者さんは約1,000万人、潜在的な患者さん（X線診断による患者数）は約3,000万人と推定されています。

当院の治療方針として、患者さんの膝の痛みや変形が軽くても重くても、まずは保存療法を実施します。その後、患者さんの骨の状態、年齢、ライフスタイルなどを考慮した上で、必要な場合に手術を選択するようにしています。

写真1.VELYS™ RAS を使用した人工膝関節全置換術（TKA）

手術においては、患者さんがどのような膝の状態であっても対応できるよう「骨切り術」や「人工膝関節全置換術（TKA）」などの手術を実施しており、良好な手術成績をおさめています。

この度、今後さらに増加するTKA患者さんの術後満足度の向上のため、**人工膝関節全置換術用医療機器「VELYS™ ロボット支援ソリューション」**を導入しました（写真2）。

このロボットはコンピュータで計画された正しい場所に機械を誘導し、患者さんの骨を正確に削るのをサポートします。

手術の正確性の向上だけではなく、患者さん1人ひとりのあしの形の違いを考えたより細かな調整を加えた人工膝関節全置換術に取り組んでいます。

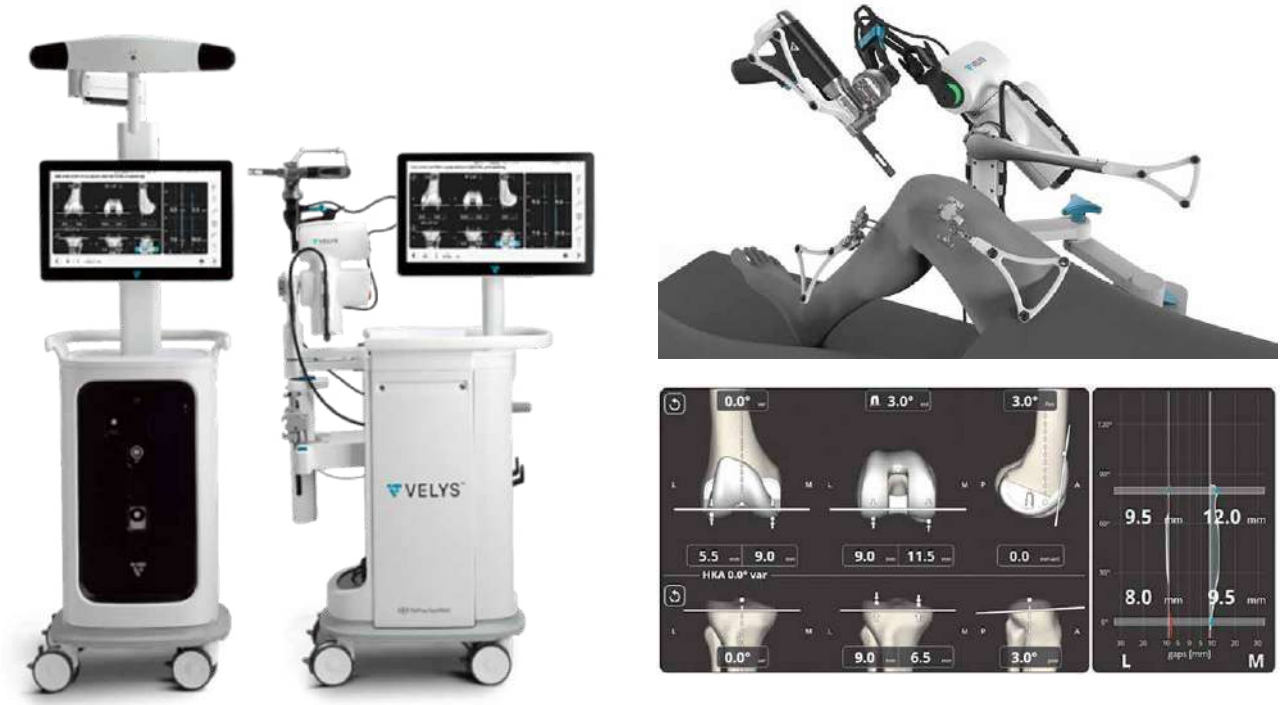


写真2.VELYS™ RAS 外観とイメージ

<画像提供：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー>
販売名「VELYS ロボット支援ソリューション」（承認番号：30400BZX00106000）
販売名「VELYS ロボット支援ソリューション用単回使用ブレード」（認証番号：304ADBZX00051000）
販売名「VELYS ロボット支援ソリューション用器械」（届出番号：13B1X00204D00092）

▲当院の変形性膝関節症治療の詳細はHPをご確認ください

ご意見にお答えします

当院では、ご意見箱を通してみなさんの声を聞き、苦情等の全体を把握するとともに、今後の事業改善に活かしています。

【ご意見】

病室の室内温度が28℃近くで暑いと意見を出しましたが、今度は夜中23℃で非常に寒かった。暑いのと寒いのが極端で中間はないのでしょうか。

【回　答】

暖房温度については、個室のみ温度設定が行えますので、適宜温度調節をしていただければと思います。4床部屋については、他の入院患者さんが風量を強くされますとどうしても室温が高くなってしまいます。病態によって体温調節が違ってきますので4床部屋についてはご理解をいただきますようお願いします。

患者さんからの貴重なご意見として頂戴し、今後の患者サービス向上の検討課題として取り組んでいく所存です。ご意見をいただきありがとうございました。

Topics

済生会がんセンター市民公開講座を開催しました

2月17日（土）、栗東芸術文化会館さきらにて第20回済生会がんセンター市民公開講座「がん予防＆早期発見～健康対策はじめの一歩！」を開催し、130名の方にご参加いただきました。

当日は、6名の専門の医師から消化器がん、肺がん、子宮頸がん、前立腺がん、乳がんの予防と早期発見のお話や、検診についてのお話など、幅広い内容での講演を行いました。最後には質疑応答の時間を設け、事前に寄せられた質問へのご回答や短い時間ではありましたが会場からのご質問にもお答えし、盛会のうちに終了となりました。

また講演以外にも会場前に乳がんの触診モデルや経口・経鼻内視鏡を実際に触っていただける検診体験ブースも設置し、多くの方に興味を持って頂くことができました。

今後も地域の皆様の健康増進の一助となれるようさまざまなテーマでの講座開催を検討していきます。

DPC特定病院群（大学病院本院準ずる）の指定を受けました

当院は大学病院本院に準ずる診療機能を有することが認められたことから、2024年6月より「DPC特定病院群」として指定されます。

DPC特定病院群とは

大学病院本院群以外の施設で、下記の4つの観点から診療実績を評価し、**大学病院本院に準じた機能を有すると考えられる医療機関**のことを指します。

【評価の観点】

1. 「診療密度」
2. 「医師研修の実施 」
3. 「高度な医療技術の実施」
4. 「重症患者に対する診療の実施」

医療機関群	滋賀県
大学病院本院群	滋賀医科大学医学部附属病院
特定病院群	済生会滋賀県病院
標準病院群	その他DPC病院

当院では「急性期医療」「がん治療」「医療・介護連携」「予防医療」の4本柱を軸として、地域の皆様に必要とされる高度急性期医療機能を充実させることにより、安全で良質な医療を実践し、地域医療に貢献していきます。

包括支払制度（DPC）とは？

DPCとはDiagnosis（診断）Procedure（診療行為）Combination（組み合わせ）の略称で、従来の診療行為ごとに計算する『出来高払い方式』とは異なり、入院患者さんの病名とその症状・手術（処置）施行の有無・合併症の有無等をもとに厚生労働省が定めた1日当たりの定額からなる包括部分（投薬・注射・処置・入院料等）と出来高部分（手術・麻酔・リハビリ・指導料等）を組み合わせて計算する方式です。

Information

皮膚科診療体制の変更のお知らせ

2024年4月1日より、皮膚科の診療体制が変更になります。
ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

変更前）皮膚科診察日　月・火・水・金

変更後）皮膚科診察日　月・火・木・金

※診療時間は9：00～12：00です

当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。

▲HPはこちら

まちの診療所紹介

かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。
体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。
自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。

滋賀県栗東市霊仙寺3丁目2-30
TEL.077-551-3131

【診療科目】
小児科・アレルギー科

【診療時間】
〈午前〉9:00～12:00
〈予防接種・健診〉14:00～15:30
〈午後〉16:00～19:00

【休診日】
水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土
午　前	○	○	○	○	○	○
予防接種・健診	●	●	／	●	●	／
午　後	○	○	／	○	○	／

2024年4月1日開院

栗東市

あずBaby＆Kidsクリニック

院長　小豆澤　敬幸 先生

この度、小児科・アレルギー科のクリニックを栗東市霊仙寺に開院しました院長の小豆澤（あずきざわ）です。

現代は少子化、核家族化が進み、支援の少ない環境で育児をする方が増えています。私は小児科医として、病気だけでなく子育てのなかで生じる困り事にも目を向け、お子さんとその家族みんなが幸せになれるように手助けができればと考えています。

栗東市をはじめ草津市・守山市など湖南地域のお子さんの心配を受け止め、その成長を一緒に見守ることのできるような診療を行い、笑顔と安心を提供できるように努めていきたいと考えています。

滋賀県草津市東草津2丁目2-53
TEL.077-565-2347

【診療内容】
内科・消化器内科・肝臓内科・整形外科

【診療時間】
〈午前〉10:00～12:30
〈午後〉16:00～19:00

【休診日】
水曜、祝日

▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土
午　前	●	●	／	●	／	●
午　後	●	／	／	／	●	／

●泉　邦洋　●河野　光泰

【内視鏡検査】
〈月曜・金曜〉13:00～16:00
〈　日　曜　〉10:00～12:30、13:00～16:00

草津市

いずみ医院

院　長　泉　　邦洋 先生
副院長　河野　光泰 先生

～『患者さんが納得のいく診療』をモットーに、
アットホームな雰囲気で寄り添います～

開院以来40年余り、地域の医療機関として、かかりつけ医の役割を果たすべく日々の診療に従事して参りました。令和5年7月より副院長として、河野光泰が就任し、内科診療を中心に担当しております。

地域の中核病院では救急患者さんの診療や生活習慣病や感冒などの一般内科診療について臨床経験を積んできました。また大学病院やその関連病院では消化器がんすべての診断と内視鏡（胃カメラ・大腸カメラ）を使った専門的な治療に携わってきました。

これまでの経験を活かし、院長とともに地域医療に尽力いたします。何かご不安なことやご不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。

病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.222　2024年4月
発行元　社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院
〒520-3046　滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号
TEL　(077) 552-1221 (代)　URL https://www.saiseikai-shiga.jp/